

【審査委員特別賞】 着脱可能な構造に特許

中山産業

2009年に開かれた国連気候変動サミットで、CO₂（二酸化炭素）の25%削減が鳩山首相（当時）から宣言されたが、プラスチック成型部品メーカーの中山産業（大阪市淀川区）は、環境ビジネスモデルとしてプラスチック段ボールケースを開発。

中山和久社長は「プラスチック成型のローテクの企業です。約5年前まで掃除機などの部品成型が中心でしたが、現在はプラスチック段ボールが会社の一つの柱となっています」と話す。

自社工場は持たず、関東と関西地域の提携工場で生産。本社は、社員5人で設計、部品調達、営業を担当する少数精鋭の頭脳集団だ。

プレゼン大会では循環型リサイクル輸送システムのプラスチック段ボールケース「Nシリーズ」を紹介。同シリーズは、オーダーメイド設計で形状など企業の要望に応える。また、メーカーから納入先へ30回以上も往復し、箱としても機能、廃棄時には、回収・リサイクルして再度製品化できる循環型だ。

荷重圧4.6トンの重量物梱包に最適な「Nコンテナ」は大型パレットサイズだが、部品の組み立て式でコンパクト。4面の独立したパネルから成り、1面をパレットにセットし、サイドパネルを接合部分に傾けて挿入。そしてフロントパネルを差し込み、コンテナ



「Nコンテナ」の接合部に秘密がある

の組み立てを完了する。この作業は、1人で簡単にできる。

接合部分の着脱可能な構造に特許がある。現在、国際特許を中国、シンガポールで取得し、台湾、米国、マレーシア、日本など7カ国で申請中となっている。

「取引先の東南アジアなどへの海外進出も多く、日系企業を対象に現地法人の設立も検討中です」と中山社長。

同社の経営理念は「環境にやさしい創造性のある商品開発を常に心掛け、循環型リサイクル技術力を有するよう努力する」ことだという。

中山社長は「商社に勤務していた時の仲間にも助けられています。人間関係は大事です。Nシリーズなどの商品を通じ社会に貢献したい」と話していた。

【問い合わせ】

中山産業株式会社
大阪市淀川区西中島4-10-19
☎06・6304・6108
URL <http://www.nakayama-ind.co.jp>